



File Password Checker

操作マニュアル



目 次

1. 基本設定	4
1.1. インストール	4
1.2. ライセンス登録	4
1.3. アンインストール	4
2. 動作モード	5
3. GUI モード	6
3.1. 画面構成	6
3.2. 確認方法	8
3.3. パスワード設定方法	9
3.4. 共有設定	11
3.5. バックアップ設定	13
4. バッチモード	14
4.1. パラメーター	14
4.2. パスワード確認方法	15
4.3. パスワード設定方法	16
5. 対象ファイル	18
6. ステータス一覧	19
7. 注意事項	20

はじめに

『File Password Checker』(以下、FPC)は、Microsoft Office (EXCEL, WORD, POWERPOINT) および ZIP ファイルにパスワードが設定されているかを確認、およびパスワードを設定するアプリケーションです。

FPC に関する最新の情報は、当社ホームページもしくは製品ページを参照ください。

当社ホームページ : <http://www.exceedone.co.jp>

製品ホームページ : <http://www.exceedone.co.jp/fpc/>

●注意

本アプリケーションには、利用にあたっての制約事項や注意事項がございます。

予め【7.注意事項】を確認の上、ご利用ください。

1. 基本設定

1.1. インストール

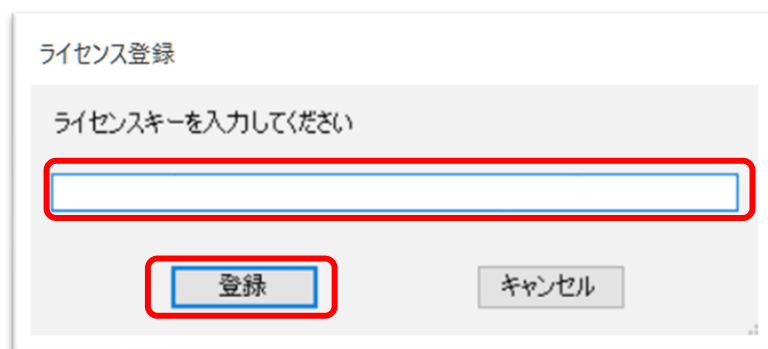
ダウンロードしたインストールモジュール（ZIP ファイル）を解凍し、任意の場所に保管してください。

1.2. ライセンス登録

1) GUI モードよりメニュー「設定」→「登録」をクリックします。

※GUI モードについては【3.GUI モード】を参照してください。

2) 発行されたライセンスキーを入力し「登録」をクリックします。



1.3. アンインストール

【1.1.インストール】にて保管したプログラム一式を、フォルダーごと削除してください。

2. 動作モード

FPC には2つの動作モードがあります。

1) グラフィカルユーザーインターフェイスモード (GUI モード)

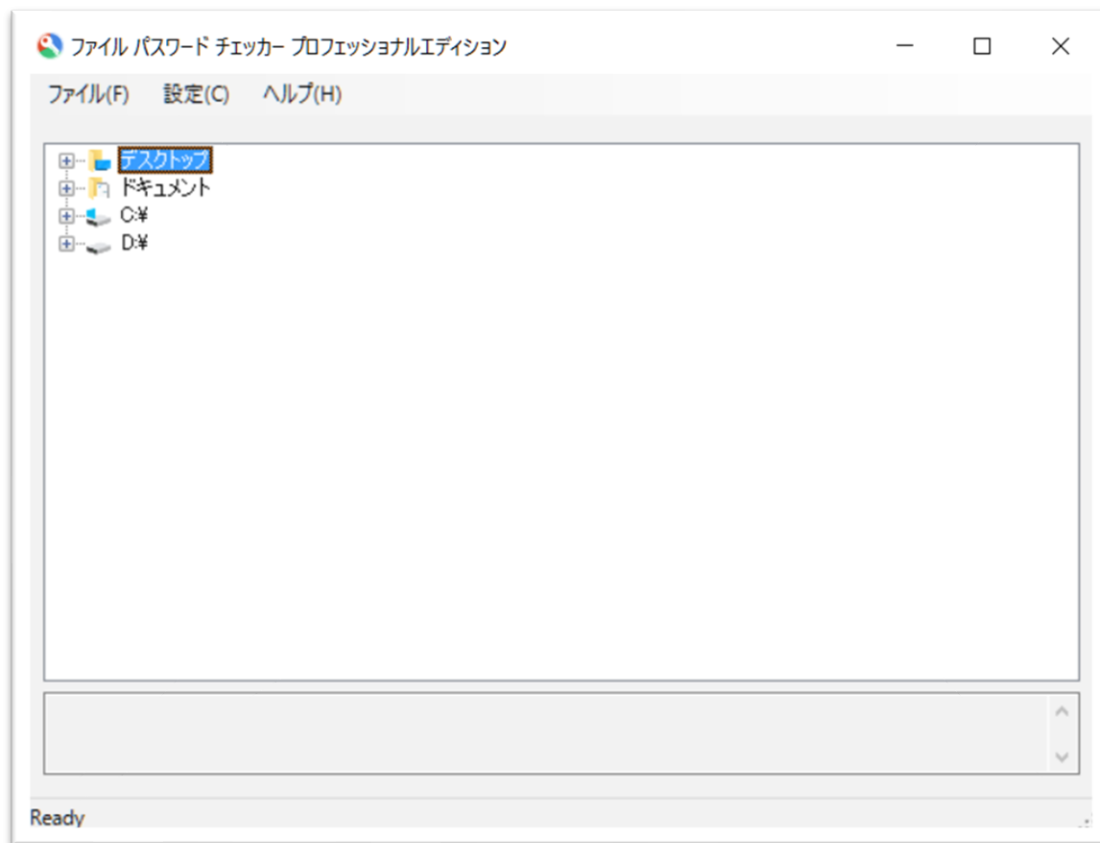
- ・ Windows フォームから操作するモード。
- ・ パスワードの一括確認、一括設定は行えません。

2) コマンドラインモード (バッチモード)

- ・ コマンドプロンプトより操作するモード。
- ・ パスワードの一括確認、一括設定が行えます。

3. GUI モード

3.1. 画面構成



以下の機能が選択できます。

① ファイル

- ・ 終了 : FPC を終了します。

② 設定

- ・ バックアップ : バックアップ方法を選択します。
- ・ 登録 : ライセンスを登録します。
※ライセンス登録済みの場合は「登録解除」となり、ライセンス登録を解除します。

③ ヘルプ

- ・ マニュアル : 本マニュアルの Web サイトを表示します。
- ・ ライセンス : FPC のライセンス規約の Web サイトを表示します。
- ・ バージョン : バージョン情報を表示します。

④ 画面中央部

●表示

- ・ドライブおよびフォルダーをツリー表示します。
- ・対象ファイルが存在する場合、フォルダーを開く際にパスワード設定の有無を確認し、表示します。表示結果については【6.ステータス一覧】を参照してください。

●設定

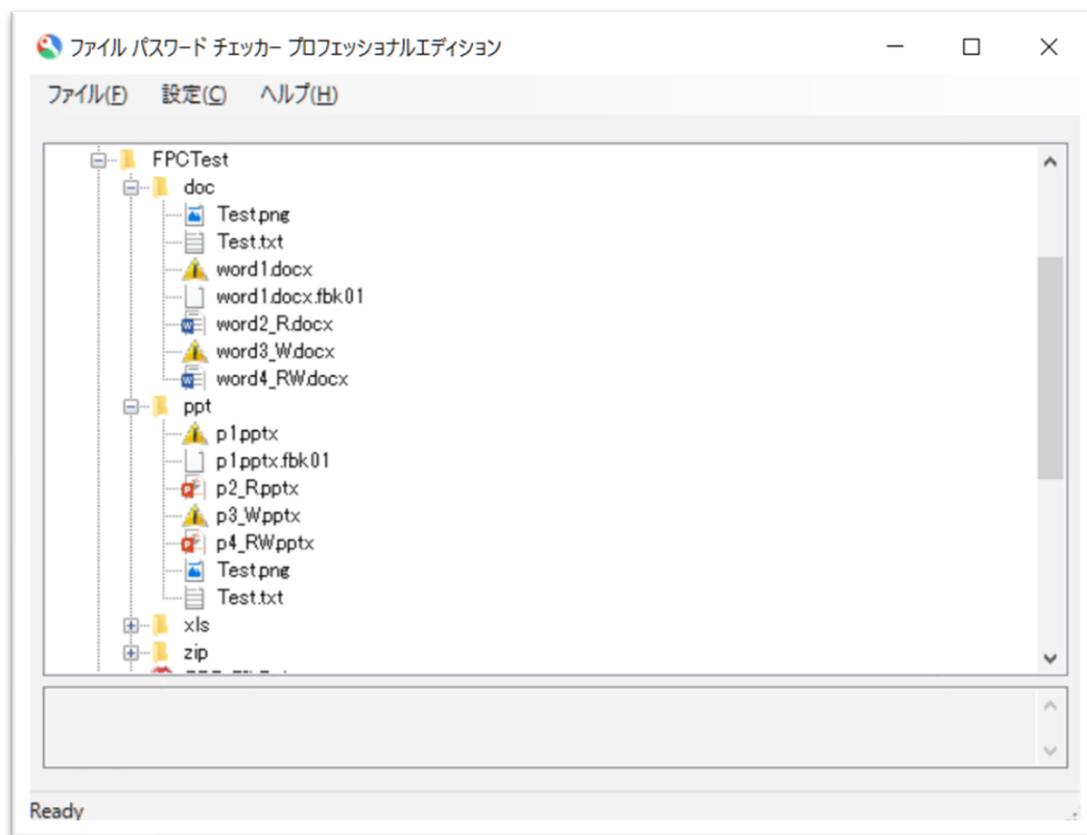
- ・対象ファイルをダブルクリックすると、パスワードが設定できます。

⑤ 画面下部

対象ファイルに対するメッセージを表示します。

3.2. 確認方法

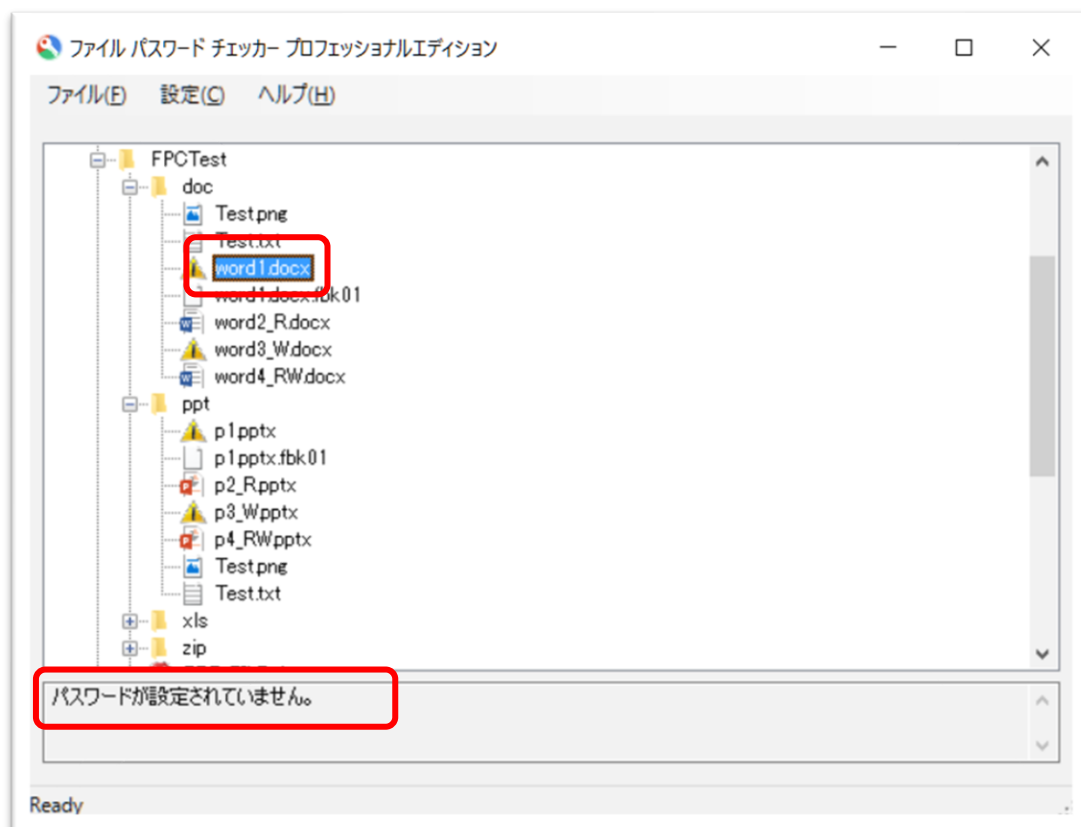
ツリービューからフォルダーを開くと、対象ファイルの状況を調査し、画面に表示します。
各アイコンおよびメッセージについては【5.ステータス一覧】を参照してください。



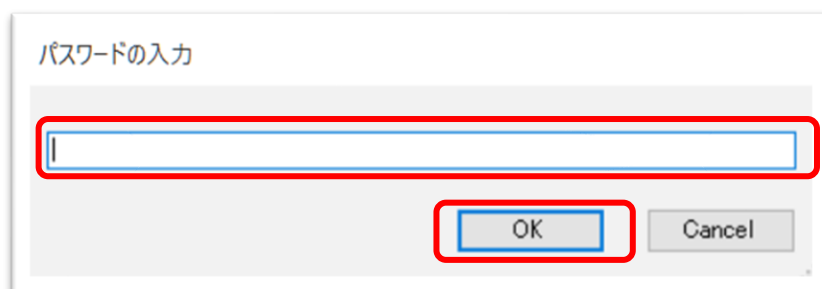
- ・フォルダー[+]をクリック
フォルダーを開きます。その際、対象ファイルの状況を調査します。
- ・フォルダー[-]をクリック
フォルダーを閉じます。なお、再度同じフォルダーを開く際、対象ファイルの再チェックが行われます。
- ・ファイルをクリック
クリックしたファイルの状況を画面下部に表示します。
- ・ファイルをダブルクリック
対象ファイルの場合、パスワード設定が行えます。

3.3. パスワード設定方法

- 1) 「パスワードが設定されていません」と表示されている対象ファイルをダブルクリックします。



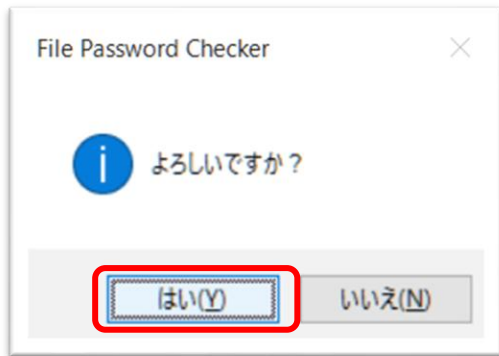
- 2) パスワードを入力するダイアログが表示されるので、パスワードを入力し「OK」をクリックします。



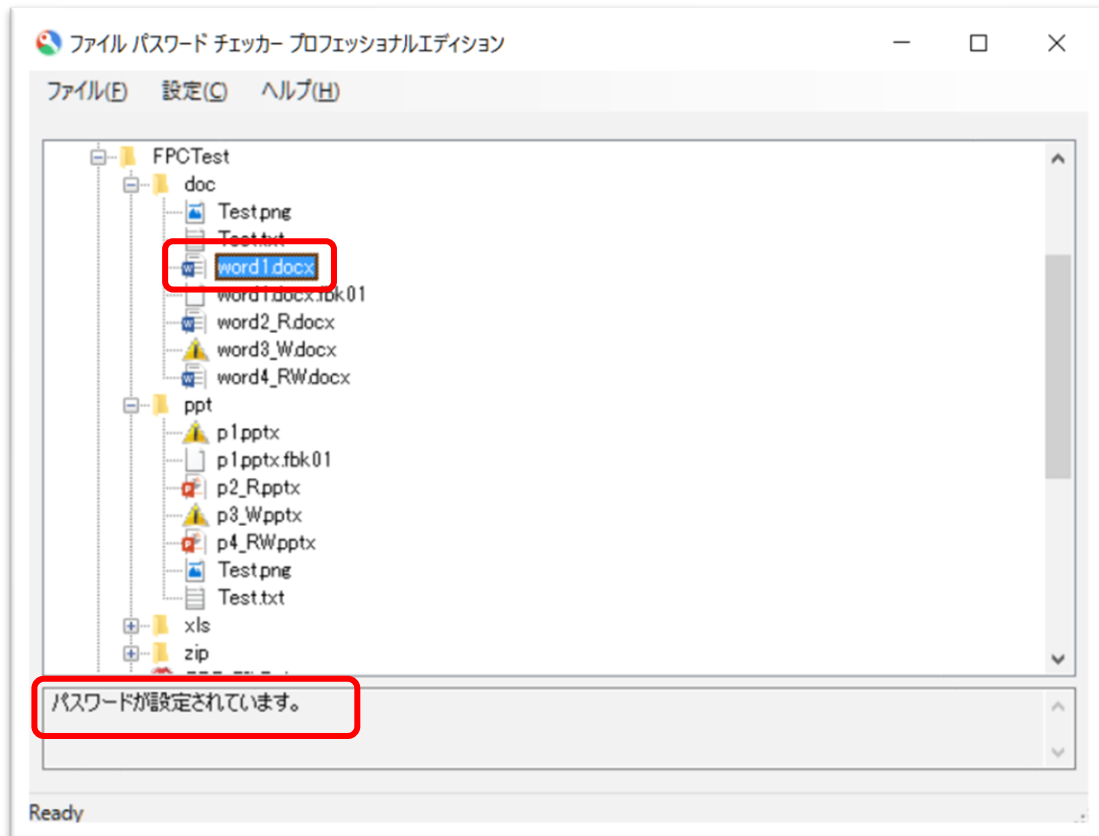
注意)

- ・パスワードに設定できる文字および長さは、それぞれの Office ファイルの制限に準拠します。

3) 確認メッセージに対し「はい」をクリックするとパスワードが設定されます。



パスワードの設定が成功すると、アイコンおよびメッセージが、パスワードが設定されているファイルのものに変わります。



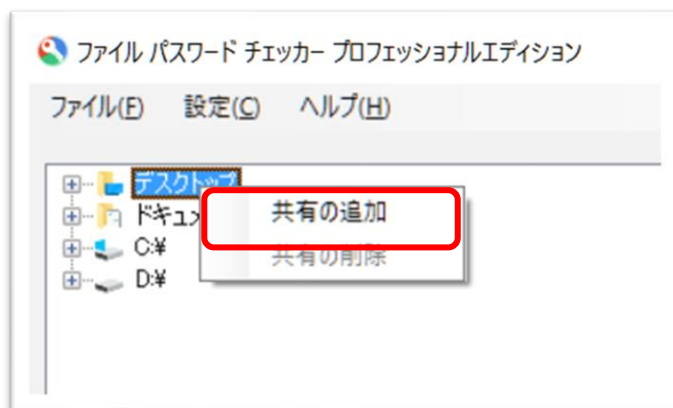
注意)

- ・ 書き込みパスワードが設定されているファイルの場合、パスワードの設定はできません。詳しくは【7.注意事項】を参照してください。
- ・ 設定したパスワードは、ログに記録されます。パスワードの取扱いに注意してください。

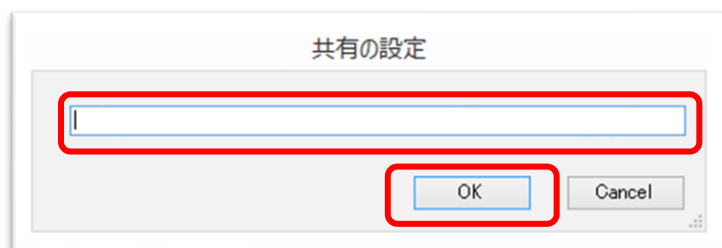
3.4. 共有設定

1) 共有の追加

ツリービューを右クリックし、コンテキストメニューから「共有の追加」を選択します。



ダウアログに、追加したい共有フォルダーを入力し、「OK」をクリックします。

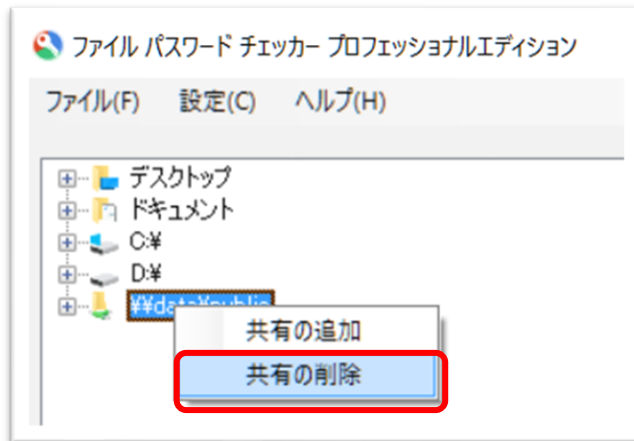


ツリービューに共有が追加されます。



2) 共有の削除

削除したい共有設定を右クリックし、コンテキストメニューから「共有の削除」を選択します。



3.5. バックアップ設定

バックアップ方法を選択します。



- バックアップします

パスワード設定前に、対象ファイルと同じパスにバックアップを行います。

ファイル名：対象ファイル名.**fbkxx** ※xxは連番

- バックしません

バックアップは行いません。

4. バッチモード

コマンドラインより FPCCmd.exe にパラメーターを設定して起動します。

4.1. パラメーター

各パラメーターの機能は以下の通りです。

注意) “パスワードチェック” と “パスワードセット” は排他処理となります。

・共通オプション

/L:filepath (任意)

ログファイルの指定。フルパスで指定する必要があります。

指定がない場合はカレントディレクトリに作成します。

/SM (任意)

結果を標準出力に出力しません。

/NC (任意)

コメントを出力しません。

/DQ (任意)

出力結果の文字をダブルクォーテーションで囲みます。

・パスワードチェック

/C:folderpath (必須)

チェック対象ディレクトリを指定します。

・パスワードセット

/S: filepath (必須)

設定用ファイルリストを指定します。

/P:password (任意)

一括設定パスワードを指定します。

この設定を行った場合、"/S"で指定した設定ファイル内のパスワードは無視されます。

/B:[ON (初期値)][OFF]

ON : パスワード設定前に、対象ファイルと同じパスにバックアップを行います。

ファイル名 : 対象ファイル名.**fbkxx** ※xx は連番

OFF : バックアップは行いません。

4.2. パスワード確認方法

パスワードの確認を行いたいフォルダーを指定します。

- ・ 確認対象外ファイルは除外されます。(ログに記録されます)

設定例)

```
C:¥>FPCCmd.exe /l:C:¥FPCLOG¥LOG.TXT /c:C:¥Document
```

C:¥Document 以下のファイルをチェック。結果は C:¥FPCLOG¥LOG.TXT に出力。

処理結果例)

```
2015/11/06 12:00:39, パスワード設定の確認
2015/11/06 12:00:39, 対象ディレクトリ : c:¥document
2015/11/06 12:00:39, --, c:¥Document¥TestData.txt
2015/11/06 12:00:39, --, c:¥Document¥Input.txt
2015/11/06 12:00:51, PR, c:¥Document¥Word.doc
2015/11/06 12:00:53, UP, c:¥Document¥Arc.zip
2015/11/06 12:00:56, PR, c:¥Document¥ExcelFile.xls
2015/11/06 12:01:00, ER: ファイルが異常です, c:¥Document¥null.ppt
2015/11/06 12:01:32, ER: ZIP ファイルではありません。 , c:¥Document¥null.zip
2015/11/06 12:01:32, --, c:¥Document¥Test.png
2015/11/06 12:01:32, --, c:¥Document¥Test.txt
2015/11/06 12:01:32, --, c:¥Document¥doc¥Test.png
2015/11/06 12:01:32, --, c:¥Document¥doc¥Test.txt
```

ログの内容については【6.ステータス一覧】を参照してください。

4.3. パスワード設定方法

パスワードの設定を行いたい内容を記載したファイルを指定します。

- ・ 処理結果はログに記録されます。
- ・ 確認対象外ファイルが指定されていた場合は除外されます。(ログに記録されます)

設定例)

C:\>FPCCmd.exe /s:C:\¥FPCSET¥INPUT.TXT /p:officepw

C:\¥FPCSET¥INPUT.TXT 内に指定されたファイルに対し、"/p"で指定されたパスワード"officepw"をセット。(INPUT.TXT に指定されているパスワードは無視)

処理結果例)

```
2015/11/06 12:00:39, パスワードの設定
2015/11/06 12:00:39, 対象リスト : C:\¥FPCSET¥INPUT.TXT
2015/11/06 12:00:39, 一, c:\¥Document¥TestData.txt
2015/11/06 12:00:39, 一, c:\¥Document¥Input.txt
2015/11/06 12:00:51, 一:既に読み取りパスワードがかかっています。 , c:\¥Document¥Word.doc
2015/11/06 12:00:53, SC, c:\¥Document¥Arc.zip
2015/11/06 12:00:56, PR, c:\¥Document¥ExcelFile.xls
2015/11/06 12:01:00, ER: ファイルが異常です, c:\¥Document¥null.ppt
2015/11/06 12:01:32, ER: ZIP ファイルではありません。 , c:\¥Document¥null.zip
2015/11/06 12:01:32, 一, c:\¥Document¥Test.png
2015/11/06 12:01:32, 一, c:\¥Document¥Test.txt
2015/11/06 12:01:32, 一, c:\¥Document¥doc¥Test.png
2015/11/06 12:01:32, 一, c:\¥Document¥doc¥Test.txt
```

ログの内容については【6.ステータス一覧】を参照してください。

●設定用ファイルリストフォーマット

パスワード設定用の設定用ファイルリストのフォーマットは以下の通りです。

・ファイル形式

プレーンテキストファイルで作成します。

・指定方法

カンマ区切りで指定します。ファイル名にカンマが含まれる場合は、対象ファイル名をダブルクォーテーションで囲みます。

対象ファイル名（フルパス名）,パスワード

設定例)

```
c:¥Document¥TestData.txt, setpw1
c:¥Document¥Input.txt, setpw2
c:¥Document¥Word.doc, setpw3
c:¥Document¥Arc.zip, setpw4
c:¥Document¥ExcelFile.xls, setpw5
c:¥Document¥null.ppt, setpw6
c:¥Document¥null.zip, setpw7
c:¥Document¥Test.png, setpw8
c:¥Document¥Test.txt, setpw9
c:¥Document¥doc¥Test.png, setpw10
c:¥Document¥doc¥Test.txt, setpw11
```

5. 対象ファイル

パスワードの確認、および設定が行えるファイルの拡張子は以下の通りです。

アプリケーション	拡張子	確認	設定	備考
EXCEL	XLSX	○	○	
EXCEL	XLSM	○	○	
EXCEL	XLSB	○	○	
EXCEL	XLS	○	○	
EXCEL	XLB	○	○	
EXCEL	XLW	○	○	
WORD	DOCX	○	○	
WORD	DOCM	○	○	
WORD	DOC	○	○	
PowerPoint	PPTX	○	○	
PowerPoint	PPTM	○	○	
PowerPoint	PPSM	○	○	
PowerPoint	PPSX	○	○	
PowerPoint	PPT	○	○	
PowerPoint	PPS	○	○	
ZIP	ZIP	○	×	パスワード設定には未対応です。

各拡張子に対する制限事項等の詳しい内容は【7. 注意事項】を参照してください。

6. ステータス一覧

ステータスは以下の通りです。

ステータス	GUI モード	バッチ モード	内容
パスワードあり	該当 アイコン	PR	読み取りパスワードが設定されています。
パスワード設定	該当 アイコン	SC	読み取りパスワードが設定されました。
パスワードなし		UP	読み取りパスワードが設定されていません。 (書き込みパスワードが設定されている場合含む)
強制終了		ER	タイムアウトにより、強制終了しました。
エラー		ER	処理中に内部エラーが発生しました。
対象外	該当 アイコン	--	処理対象外ファイルです。
Office 無し		CP	Office がインストールされていないか、初期化に失敗しました。
エディション制限		LM	利用中のエディションでは処理対象外です。
その他	該当 アイコン	--	その他、上記に含まれない場合。

該当アイコン：Windows にて対象ファイルに設定されているデフォルトのアイコン。

7. 注意事項

1) Office 製品 (EXCEL、WORD、POWERPOINT) に関する制限

本プログラムは、本プログラムから Office 製品を操作することでパスワードの有無確認、パスワードの設定を行います。このため、以下のような注意点があります。

- ・本プログラムを起動する前に、すべての Office 製品を終了してください。POWERPOINT が起動している場合、本プログラムは起動されません（警告が出力されます）。
- ・本プログラム実行中は、Office 製品を利用した他の作業は行わないでください。本プログラム起動中に EXCEL、WORD、POWERPOINT を起動しても、正常に動作しない場合があります。
- ・Outlook で EXCEL、WORD、POWERPOINT ファイルのプレビューを行っている場合も同様に、起動時に警告が出力されます。
- ・本プログラムが異常終了した場合、EXCEL、WORD、POWERPOINT のプロセスが残ってしまう場合があります。タスクマネージャーより強制終了して頂くか、再ログオンを行ってください。
- ・本プログラムが動作中、画面に Office 製品からのダイアログ等が出力される場合があります。ダイアログ等は本プログラム側で制御しますので、操作等は行わないでください。
- ・本プログラムで Office 製品のファイルを処理中、制御が行えなくなった場合は本プログラムより EXCEL、WORD、POWERPOINT のプロセスを強制終了します。他の作業で行っている Office 製品についても強制終了されることがありますのでご注意ください。
- ・バッチ処理を行う場合は対話モード（ログオンした状態）で実行してください。これは Office 製品の制約で、バックグラウンド処理に対応していないためです。
- ・Office 製品のファイルに書き込みパスワードが設定されている場合、読み込みパスワードは設定できません。これは読み取りパスワード設定時、書き込みパスワードが必要となるためです。
- ・古い Office 製品で作成されたファイルに対しパスワード設定を行おうとした時、エラーメッセージが出力され、パスワードが設定できない場合があります。これは Office 製品の制約で、古い Office 製品で作成されたファイルを新しい Office 製品が保存することができないためです。古い Office ファイルを新しい Office ファイル形式で保存し、再処理してください。
エラーメッセージ) HRESULT から例外: 0x800A03EC
- ・「FPCLog.txt」に以下のログが出力された場合は、Microsoft Office が正常にインストールされていない可能性があります。

エラーの例)

2025/10/25 11:11:11,初期化できませんでした。EXCEL ファイルは処理対象外になります。

2025/10/25 11:11:11,初期化できませんでした。WORD ファイルは処理対象外になります。

確認方法の例([WORD ファイル]の場合)

Word が PowerShell から起動するか確認してください。正常に起動しない場合は主な原因は Word 側の COM 構成やインストール状態の問題 であることが多いです。

=====

```
# Interop アセンブリのロード
Add-Type -AssemblyName "Microsoft.Office.Interop.Word"

# 型を直接参照できる
$word = New-Object Microsoft.Office.Interop.Word.ApplicationClass
$word.Visible = $true
# =====
```

2) タイムアウトに関する注意

- ・本プログラムは、Office 製品や ZIP プログラムが制御不能となった場合、該当プロセス群を強制終了します。これが発生した場合、ログには「強制終了」と記録されます。
- ・強制終了の初期値は“30 秒”です。変更を行う場合は、設定ファイルを修正してください。
ファイル名 : FPC.xml
修正箇所 : `<WaitTime>30000</WaitTime>` ※ 30000 ミリ秒=30 秒
- ・ファイルによってはタイムアウト値を変更しても正常に動作しない場合があります。その場合は直接該当ファイルを開くなどして、ファイルの状態を確認してください。

3) バッチ処理時時のファイル呼び出し間隔に関する注意

- ・本プログラムは、バッチ処理時に、次のファイルの読み込み間隔を設定が可能です。
※理由 : ファイルの読み込み間隔が短いと NAS 等でブロックされる場合があるため
- ・初期値は“0 秒”です。変更を行う場合は、設定ファイルを修正してください。
ファイル名 : FPC.xml
修正箇所 : `<BatchIntervalTime>1000</BatchIntervalTime>` ※ 1000 ミリ秒=1 秒
- ・ファイルによってはタイムアウト値を変更しても正常に動作しない場合があります。その場合は直接該当ファイルを開くなどして、ファイルの状態を確認してください。

4) 長いパス+ファイル名

- ・Windows の仕様により、フォルダー名とファイル名の組み合わせが 260 文字以上となる場合、正常に処理が行えません。これはバックアップファイルが作成されるときも該当します。
- ・エラーが発生した場合は、フォルダー名とファイル名の組み合わせが 260 文字未満（バックアップを行う場合は、254 文字未満）になるように変更してください。

5) 32 ビット版/64 ビット版での動作

当社では以下の組み合わせで 32 ビット版・64 ビット版の検証を行っております。
(2017.03.03 現在)

OS : Windows 10 Professional 日本語版 バージョン : 1607

Office : Office 2016 ProPlus 日本語版 バージョン : 16.0.7329.1037

OS	Office	動作	備考
32bit	32bit	○	
32bit	64bit	—	この組み合わせのインストールはできません
64bit	32bit	○	
64bit	64bit	○	

File Password Checker マニュアル

製造・販売 : 株式会社エクシード・ワン

発行日 : 2025/11/19 FPC Ver.1.4.2

The logo for Exceed1, featuring the word "Exceed1" in a bold, italicized, blue sans-serif font. A light blue, curved swoosh or underline is positioned beneath the text, starting from the left and extending to the right, ending under the "1".

Exceed1